

「夢と希望を育み感動のある石原小学校」 目指す学校像
 ー子どもたちの笑顔が溢れる学校教育ー

1 経営理念

「学校・家庭・地域との連携を図りながら、生きる力を育む授業の創造を目指す」

- (1) 「学校は子どものためにある」子どもを中心に据えた学校づくりを推進する。
- (2) 児童、教職員、保護者、地域住民にとって生きがいを育む学校を目指す。そのために、学校、家庭、地域社会、三者の連携を図り、開かれた学校を一層推進する。
- (3) 教育とは、人を人として自立させることである。児童が自分のできることは自分の力で成し遂げることによって自信が持てるようにする。そのために、児童一人一人を良く見つけ、理解して、その能力や適性を十分伸ばす教育を推進する。
- (4) 美しくうるおいと安全で、落ち着いた教育環境づくりを推進する。

2 学校教育目標

「人間性豊かで自己開発を目指す心身共に健康な児童の育成」
 目指す児童像

健康でがんばる子	校訓 (強 く)
すすんで学ぶ子	(正しく)
仲よく助け合う子	(睦ましく)

3 学校経営方針

< 教育は相互関係が基盤である >

- (1) 教職員の一人一人の創意や積極的な経営参加を図り、生气あふれる学校を推進する。
- (2) 「教育に関する3つの達成目標」を推進し、「生きる力」を育む教育を図る。
- (3) 教育者としての資質向上に努め、確かな学力と豊かな心を育成を図る。
- (4) 教育環境・学習環境を整え、安心・安全・快適な学校づくりに努める。
- (5) 保護者や地域社会との相互理解を進め、信頼される学校づくりに努める。

目指す学校像

「夢と希望を育み感動のある学校」

- 励まし合い、学びがいのある学校
- 心身が鍛えられ、やりがいのある学校
- 児童一人一人を大事にし、通いがいのある学校
- 「安全・学習・人権」の保障ができる学校
- 夢や希望を育て、感動と喜びのある学校

目指す児童像

「知・徳・体のバランスのとれた健康な子」

- | | |
|----------|---|
| 健康でがんばる子 | すすんで体を鍛え、がんばりぬく子
わからないことをそのままにせず聞ける子
人の立場や考えを大切にし、助け合う子 |
| すすんで学ぶ子 | |
| 仲よく助け合う子 | |

* 合い言葉「返事・あいさつ・後始末」

4 指導の重点・努力点

「健康でがんばる子」 (体育) < 目指す児童像 >

【重点事項】

(1) 活力ある健康づくり (基礎体力の向上)

< 努力点 >

体育授業や体力向上推進委員会の充実を図り、運動に親しみ、たくましく生きるための健康や体力づくりを実践する。

< 具体的な実践事項 >

- ・ 体育授業の充実
- ・ 体育的行事の充実
- ・ 体力向上推進委員会の活性化
- ・ 新体力テストの課題を重点に指導 (すくすくプログラム活用)
- ・ 体力貯金通帳の確実な実施
- ・ 放課後や昼休みの集中講座開催

【重点事項】

(2) 健康安全指導の充実と事故防止の徹底

< 努力点 >

自他の生命を尊重し安全な生活を送るために、教育活動全体を通して、保健安全、給食指導を充実させ、健康教育を推進する。
校舎内外の潜在危険の早期発見と除去を徹底する。

< 具体的な実践事項 >

- ・ 交通安全意識の高揚 ・ 登下校時の安全指導の徹底
- ・ 生命を守る安全指導の徹底
- ・ 学校保健委員会の計画・実施
- ・ 給食指導と食育教育の重視
- ・ う歯・疾病予防の推進と治療の推進
- ・ 保健教育の推進、学校保健会の活性化
- ・ 危機管理マニュアルの見直しと改善充実
- ・ 校舎内外の潜在危険の除去
- ・ 避難・防犯訓練の充実、改善

【重点事項】

(3) 力を合わせて取り組むやる気づくり (集団活動の育成)

< 努力点 >

児童の自主的活動を通して、望ましい集団活動を体験させ、連帯感や成就感を味わわせる。

< 具体的な実践事項 >

- ・ 業前運動の充実
- ・ 運動会の内容取組の工夫
- ・ 陸上カーニバルへの取組強化
- ・ 児童会活動、クラブ活動の充実
- ・ 昼休みのチャレンジタイムの活動の確保と場づくりの工夫

「すすんで学ぶ子」(知育) <目指す児童像>

【重点事項】

(1) 学ぶ楽しさのある・授業づくりと確かな学力の定着 (学習指導の充実)

<努力点>

3つの達成目標の実施委員会の設置と指導法の研究を工夫する。
基礎的・基本的な学習内容を定着させるため、1時間毎の「学習内容」と「指導の上の手立て」を明確にした授業を行う。
板書を工夫・改善すると共に、ノート指導を徹底する。
習熟度別の少人数指導を充実し、一人一人に着実に学力を付ける。
児童や保護者に評価規準や評価方法を示し、根拠を明確にした指導と評価の一体化を図る。

<具体的な実践事項>

- ・ステップあゆみ、あゆみの活用
- ・少人数指導、習熟度別指導の充実
- ・教師の指導技術の充実・向上
- ・ステップアップタイムの確実な実施充実
- ・指導案に板書計画を作成
- ・読書チャレンジ100冊
- ・評価方法の工夫と・指導と評価の一体化
- ・授業時数の確保
- ・一人一授業研究会の実施

【重点事項】

(2) 学習規律の確立と学習意欲の喚起

<努力点>

指導すべきことと児童に任せるべきことをわきまえた指導をする。
鉛筆の持ち方、椅子の座り方、発言の仕方など学習規律を徹底する。
学習環境を整備し、個を生かす授業の充実を図る。
児童理解を深め、相互の信頼関係を培うとともに教育相談的な態度や技術を身につけ、助け合い、認め合う温かい集団づくりに努める。

<具体的な実践事項>

- ・学習規律の徹底
- ・ペタン ゲーム の徹底
- ・返事、あいさつの徹底
- ・次の授業の準備の徹底

【重点事項】

(3) 生きる力の育成

<努力点>

日常生活の中での基本的な行動様式の徹底と習慣化を図る。
(返事・あいさつ・後始末)の徹底
人、物、自然にふれあい、思いやりの心、奉仕する心の育成を図る。
家庭、学校、地域の一員としての自覚を深める働きかけをする。

<具体的な実践事項>

- ・家庭での学習習慣を身につけさせる工夫(宿題・予習・復習)
- ・家庭内を楽しい学びの場とする。
- ・学びっ子 5つの合い言葉の活用啓発
- ・連絡帳の1～3行日記の実践
- ・地域人材、施設等の効果的な活用

【重点事項】

(1) 意図的・計画的な学年・学級経営の充実

< 努力点 >

児童理解に徹し、よさと可能性を伸ばす。
児童一人一人の存在感のある教室経営・教室環境を整える。
存在感、充実感のもてる学年・学級経営を実践する。

< 具体的な実践事項 >

- ・ 飼育、栽培活動の実践
- ・ 人事評価を活用した、実施と評価の工夫

【重点事項】

(2) 豊かな心の育成 (道德教育の充実)

< 努力点 >

教育活動全体をとおして、豊かな心の育成を図る。
教科、総合的な学習との関連を図った道德授業の充実を図る。
道德の学習内容を積極的に発信したり、保護者や地域の声を取り入れたりし、
学校での実践が、家庭、地域と共有できるようにする。

< 具体的な実践事項 >

- ・ 道德の35時間確保
- ・ 家庭を巻き込む道德教育の充実・実践
- ・ 心のノートの活用

【重点事項】

(3) 人権尊重と互いに認め合う仲間づくり (人権教育の推進)

< 努力点 >

人権尊重の精神を基盤に、相手の立場や気持ちを考えて行動し、いじめや差別を見抜き、許さない生き方のできる児童を育てる。

< 具体的な実践事項 >

- ・ 校内人権週間の設置
- ・ 人権作文・標語の制作指導
- ・ 毎月のいじめ調査の実施活用、素早い対応
- ・ いじめ緊急職員会議の実施
- ・ 幼保小中の積極的な連携

【重点事項】

(4) 障害のある児童の理解と適応促進づくり (特別支援教育の推進)

< 努力点 >

ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進し、心身に障害のある子の理解と全教職員による自己実現の支援を図る。

< 具体的な実践事項 >

- ・ 熊谷養護学校との交流教育
- ・ 巡回教育相談の活用と指導の工夫
- ・ 支援席の効果的な指導と親学級との連携
- ・ 特別支援教育支援員の活用

【重点事項】

(5) よりよい環境づくりについて正しい理解と積極的な実践力の育成（環境教育）

<努力点>

- ゴミのないきれいで清潔な学校を目指す。
- 興味関心を高め、新鮮さがあり変化に富む掲示環境の充実を図る。
- 場に応じた話し言葉の指導と言語環境の配慮をし、落ち着いた学校生活を送れるようにする。
- 公共物を大切に作る心と保全、環境美化の推進を図る。
- 児童と教師の協同による清掃、美化活動を進める。

<具体的な実践事項>

- ・季節感や動きのある意図的・計画的な掲示
- ・アルミ缶回収の充実
- ・自主的なボランティア活動の啓発

【重点事項】

(6) 基本的生活習慣の育成（生徒指導・教育相談の充実）

<努力点>

- 規律ある態度の実践と評価を生かして、具体的な目標を設定し取り組む。
- 児童の一人一人を具体的に理解し、全教職員による共通理解・共通実践の下組織的・計画的な生徒指導を推進する。

<具体的な実践事項>

- ・石原小生活のめあての徹底と活用
- ・「報・連・相」の徹底
- ・緊急職員会議、緊急生徒指導委員会の実施、素早い対応策
- ・熊谷市4つのめあての実践
- ・家庭と連携した基本的生活習慣の確立
- ・教育相談の充実（月・定期・家庭訪問）

【重点事項】

(7) 国際理解教育の推進

<努力点>

- 英語活動の充実、指導法の工夫と特色ある年間指導計画を作成する。

<具体的な実践事項>

- ・英語活動5・6年生の年間35時間の実施
- ・ALTとのT・T
- ・国際交流協会との連携